平新報

發行日 月一回 毎月10日發行
編輯兼發行印刷人 山野邊庄吉
福島縣磐城市大字岩出字向二八
發行所 平新報社
一部定價拾円送料四円
廣告料 一行 五十円

◆大掃除の御用意に◆
殺菌を兼ねた殺虫劑
ネオガンロー 粉劑油劑
常磐製藥株式会社
平市大町二八 電話一七六〇

みんなで防犯、明るい部落
これは磐城警察署の防犯標語

(眞立随筆) 左の通告音信を掲して世の正判に訴う

三月十八日 山野邊庄吉

鈴木一元様

一昨日は御多忙中大字会を召集下されて有難うございました。うち大蔵さんや、春夫さんが大きい聲を出して甚だ迷惑の事だったと思います。

一、就いてはあの折、平で時間を約束した事があるので心急ぐまゝ清弥さんに任せる？ の言を私は發言した如きを記憶致しますが〻これはよっく考えたが取消します時の區長として一番責任ある清弥さんがあゝいうウソをついて證言する人は物事を公平にやってくれません

一、それで御配慮ついでに現區長公弘さんと農事班長となった正一さんと御相談してスジの通った事に審進して下さい

一、何事も約束、公約を認めてくれた直さんのあの案は良いか？ と思います

一、私に來るべきいなよこした字を代表した四人の委員が私に優先權を與えてくれた土地を私から區長をひきうけた清弥さんが實行もせず大蔵さんらと相談して私の承諾も得ず、時の區長代理直さんにも話さず清さんにやった事はあの折の證言で判りました。故に此の際告訴するなれば、清弥さんと大蔵さん、清さんの三人だと被告が變ったと思います。證人は馬上課長外拾何名かになります。

一、なるべくなれば證人に迷惑をかけるから法訴は避けたいと思います。

一、直さんの案でも必ず山野邊ヨネさんの承諾を得て下さい、ヨネさんが反對なれば絶對土地の境は從前にしておかねばなりません所有者が、一枚の田土地で「クロかクイ」なくして二名の所有者はあり得ない、ここが問題になりますからよく検討して下さい。私の方は所有者一名だから大した事ないでしょう。

一、種々申し上げたい事ありますが貴殿、前區長としての御心配に對して感謝し許りで私の權利もある程度讓歩します。只々私の家族か私に來る土地を清さんに横取りにされた、清さんにやった事を殘念に思って居る事は事實です。

一、何人も集めたとて迷惑でしょうから御三人様で進めて下さい。但し直さんは公平と思いますから相談者として參議さして下さい實は私も區長代理をひきうけたのだからそれに加はるべきだが私の問題も入って居り、私の意見はきいてもらいますが處理の方へは遠慮します。

一。大蔵さんや春夫さんは清さんは勿論私より忌避します。あの折の話しでは初めから公平の意見でない清さん、元さんもウソつきですから忌避します。以上

追申、ヨネさん名に渡すでなく清さんに渡すのだろうからそこの點はつきりして下さい。

× × ×

拜啓 前略御免下さい。

本日は御多忙中御苦勞様でした、私、平で約束時の事あるので心急ぐまま小生十二分の氣持を申し上げずに中座致しましたが、本日一元氏宅での貴兄の僞りの證言には爽心憤慨せざるを得ない、貴兄櫻宇田道路擴張の發案者として、續いて沼の改修工事時の區長として法的に責任者である。引きつづいての區長として私との確約を果さねばならぬ筈

一、道路擴張工事には堤田の堤防をどれからどれへと細を東西に張った時も皆棟立会ったし、しかるが故にあの土を細張南を全部土取りする事は誰人も確認して居った筈

一、輝さんの邪魔で全部の土をとり得なかった事は私の説明した通りである

一、兄らが四人で小生宅で確約した事を今更考えの相違等と公言するに至っては兄の良心がマヒして居りはせぬか、兄は銀行の支店長として信用が第一、私は兄を信用出來ぬ事になった

一、更に角如上の公約を承知したから兄らが私に優先權を與えながら沼の改修工事に清さんの沼改修ップレ地代價に私の承諾も得ずして清氏にやった事は、これ二重売りの様なものでないですか殊に區長代理であった直さんが知らなかった知らせなかったという事は兄と大蔵さんらがやった事になる、あまりに秘密主義で何の爲の區長代理だかわからぬ、兄らの話を聞くとどうも公明正大でない、直さんの話と記憶と私の信じて居る事はッ合して居る、兄の言に對立して居るとの話しがあったが何も對立して居らぬ、兄は御自身惡人と申されたが何も惡人ではないが、清氏は勿論元氏と共にウソつきたる事は事明白である。私に代替にやるからとして、その確約を果さずして第三者にやる如きは私をサギにかけて横取りさせ横流しにした事になりはせぬか、何の意志があって貴兄は私一家に慘酷に當ったのか、登錄の折もあの仕打ちは近隣の情義に背いて居りはせぬか、兄らの爲に組合長をやめモミズリ等も住吉からたのんでやったものだ

一、要は貴兄が役職の折やった事だから兄の責任の所在を質すと平新報に報じたのだ

一、次に一等田(櫻宇田)沼下(山の神下)は多分六等田位だろう。右は直さんの提案で兄に任した件だが五十五歩と十七歩、清さんは言う)代金四百円だが十七歩とすれば坪六十円にして計算が合わぬ責任者として明確に調べてもらいたい。その歩坪に間違いがないか御願いします。

兄の責任だから私の納得する様善處して下さい

一、結論として兄が公言によって初めてその當時の(沼改修工事の委員)は誰人でも櫻宇田道路工事の委員殊に連絡協議員？ の兄とに私は勿論字人が納得する様善處して下さい。事は急を要する、一たん兄に任した以上、法訴の手續きは見合せる心算だがあくまで兄らがウソをつくなら筆を以て世の批判に訴える事にする、該件は筆を進めないかも知れぬが地セブリに對しては即ち公地他地侵略、交通妨害としては告發もして世の批判に訴える、これは兄に關係した事でないが相互に被害者である、字人は勿論住吉の人らの輿論である、彼清さんは田土地を欲しいのだ、▲▲さんもそうだそれも正當な事をして獲得するなら別として、現に沼下(山の神下)の畑を沼改修工事に名をかりて若いものにモッコをかつがして田にして了ったぢやないか、あれを清さん一人で田にするには何年かかると思う、その他ォーナといえ、道路といえ、侵略の度を越して行通妨害をして居る、よつく字に來て實況見分してみなさい。私は社会公益のため彼らの邪心と暴力と闘う決心はにぶらぬ、私の心境と信念を申し上げて兄の善處方を切望する。勿々不備

三月十六日夜 山野邊庄吉

若松清弥様

二伸、私のうちで藏をやぶられて衣類七十七點盗まれた當時大蔵さん直さんの心配をうけ見舞をうけたが彼清さんはとう〳〵見舞に來ずして慰めの言葉もかけてくれなかった、彼の妻あいちゃんが平に入院した折は平まで見舞に行ったものだ兄の奥さんの入院の折もたづねた、彼清さんは人の災難を百も承知しながら〇〇〇んで居るらしい、直さん〇〇〇んには傷害する程の暴力を加えて平検察廳まで取調べをうけた事米の〇〇し（元氏と共に）法を犯して居る事は兄も御存知の事と思う人に暴力を加える如き人だから他人の〇〇や土地を横取り侵略する如きは平氣らしいこういう人に兄は何が故に利益をさせ殊に公人區長としてやらねばならぬのか、兄の心事が私には納得出來ぬのである。私のうちへ來たときは工事の委員として字を代表して來られた筈だ、何事もスジの通る事にしたいものだ まがった事はやめて下さい。いづれ又申し上ぐ大蔵さんの金肥インチキ、あの折字人被害者から告訴されたらどうなるか、それを私は宿をして内濟ですましたのだ、その間の消息は兄はよっく知って居る筈だ

三月十八日

若松清弥様 山野邊庄吉

× × ×

三月十九日

平新報社 山野邊庄吉

勿來市植田、大東相互銀行植田支店長 若松清弥様

拜啓 前略御免下さい。先きの手紙の通りの私の心境だが、ある程度、私の權利は讓歩する事にするが、兄にはまかせられぬ、あの会合の言は取り消します。（即ち清彌さんに任せるの言）兄の言動と清氏と前以て通謀しての時の區長としての背信背任言動に對し、被害者の私として相當の手續をとる事を通告しておきます。

これも勸善懲惡と心得る。 勿々不備

新報直言

擔當 赤井岳子

縣と市の主幹税目たる住民税、事業税が大企業の場合その本店が中央都市にある關係上地方行政上の歳出諸負擔は地方の大衆が代って負わせられている。▼ところが住民税の對象に法人と個人とがあることすら賦課擔當責任者が知らないのがその實情である。▲月額僅にも達する壹萬に近い從業員の生活用品の販売に所得税も事業税も市民税も課税されていないのに反してその千分の一にも達せぬ冷細販売業者に官公税吏は目の敵となっている。▼正義心に燃えて大きいところから税金をとってやろうと思ってもとれないという意味の「つらさ」これが現在彼等税吏の裏話である。▼一体この國の政治家も大衆も人間的感覺があるのかそれとも下等な動物的不感症なのか▼某市の標準價格は七億五千萬も急增されて前年度に比較して固定資産税一、一〇〇萬円同標準價格で鑛産税も一、〇〇〇萬円新年度に增徴されると聞く▼かくして炭礦地帶の自治体の財政は強く押せばゴム毬のようにどうにでもなる▼監督の立場に置かれる國も縣も一体なにしているのかその存在價値がどこにあるのか▼行政擔當者特に縣市の税務課長等のキ然たる信念こそ大衆唯一のたのみ實に哀れなものだ▼大企業と雇傭關係にでも置かれている議員諸公はただ選擧の時だけ大衆の味方なのか。▲常磐市長戰の勝負の決るのは來月節句の頃とか……諸問題を通じて適者が誰であるかは讀者が選ぶべきことではあるが一考再考すべき重大問題▼磯野前常磐炭鑛勞働組合長この頃会社と關係まで完全に打ち斷ってその持てる反資本主義エデオロギーを押したてた發憤すべき勇敢さに市政に關心を持つ常磐四萬市民特に商店街、農村部落心ある組合員等をキヨウガクさせている▼日頃名聲ある御用組合として日本でも有名だと嘔許あるだけにその幹部の一部とは〇〇〇とみにその株價の上騰をみせたのだから日本勞働史のためにも自重自戒するよう讀者に代って切望する▼予想さる矢吹松本、日野、各市長候補も鑛産税の如き地方税は鑛害のだからこれを加えて一般行政を對象とした目的税な通常歳出に流す場當り財政政策をこの選擧に打ちたて百年後の常磐市民を泣かすことのないように……內鄉礦癈礦は親切に事前にこのことを敎えてくれたのだから……たのむ……。▼五大都市が共同でバス經營を決定したそうな 地方人だけでやっている常磐交通の獨占を攻める前にこの石城の殖民地的産業經濟の打破とその獨立のために外に打つ手はないのもかしら▼この意味では小名濱の向ける資本主義に對するこの忠事件は惡どい殖民地に於ける地方最初にして最大の抵抗である▼この類似抵抗こそは將來常磐、磐城 勿來の各市を中心とする所謂常磐綜合開發の各地各地に次々と起る現象であろう……その內容も質も奥会津の湖底に沈む田子倉部落のあれ以上に……▼これからの企業理念は總て金儲の對象となすべきではない、企業は總て公器であるべきだ……理論政治家として……興磐町長何れからも評判のよい……頭腦明快な岸首相の言葉ではないが▼平の本町通りのある有名商店の標語のように曰く「皆様の利益を護る店」讀者の皆さま如何ですか……直言に對し強い御批判を期待する。

★★祝★★ 平新報第三種郵便物再々認可

常磐交通自動車株式会社社長 野崎滿藏
本社 平市田町一 電平二二〇〇一二番
自宅 平市舊城跡一二 電(平)三九〇番

磐城市小名濱港 小野義一

小名濱信用金庫專務理事 近藤安雄

常磐市湯本溫泉 山形屋 鈴木康平 常磐四番電四四番

磐城市選擧管理委員長 小濱長太郎

平市二丁目二三 電話三番 西村屋藥局 藥劑師 鈴木新右衛門

平市二丁目 中野洋品店 中野勇雄

平市四丁目 伊勢屋商店 阿部唯次郎

平市田町 松月堂

平市大町 諸橋敬一郎

平市新川町二八 助産婦 鈴木カネ

磐城市野田二九 製繩業 中野光一

平市田町 八千代 佐藤登美

磐城市小名濱 高木忠治

平市二丁目 鈴木庫左右

平市久保町 永山勇吉

湯本信用組合理事長 松本久吉

常磐地區勞議長 磯野清治

春の遊樂は白鳥鑛泉 喜樂屋へ 電二三七番 常磐線湯本驛下車サービスカーで十五分

ワカマツヤ 酒造場 電話開通お知らせ 六六〇番 御代武光 常磐市岩ヶ岡

ヤマキチ 味噌醤油醸造元 電話開通お知らせ 六六一番 吉田吉兵衛商店 常磐市岩ヶ岡

ノザワの自轉車 マツヤの自轉車 榮輿社自轉車 各種代理店 トヨモーター號 ホンダドリーム號
矢內自転車店 電七九番 常磐市湯本驛前

磐高誕生の記念日

祝福いたしたいものです

野崎喜八郎

（寫眞は十二年間難局の同窓会長を勤めた前会長野崎喜八郎氏）

親愛なる山野邊庄吉君がその昔、平新報を起こし磐城中學校同窓会誌なきあと磐中同窓会の準機關紙として編纂し諸先生始め先輩会員各位の動靜を詳報してくれ吾々郷土に在る者の先進各地に於ける活躍情況を知る事が出來後輩の吾々は大いに啓發させられたものであつた、同時に一般からも愛され且つ親しまれた新聞であつた。

然るにあの戰時下に入つてその機能を停止された爲に吾々は暗夜に燈を失つたも同様な空白な時代が續いたのであります。

然し時代は去り悪夢は醒め平和が甦りて先般再び平新報の名の下に發行の運びになつた事は誠に喜びに堪えないと同時に益々蔦に倍した御發展を祈つて止みません。來る五月五日の磐高創立記念日に當り、特集號發刊すると聞き私は今更ながら一入の感を深ふする者であります、

即ち當日こそ吾々壹萬余の磐高同窓会員が擧つて祝福すべき日でありましょう

昭和二十六年十月一日母校があの不慮の災厄に遇つたが皆様の絶大なる御同情により近々二ヶ年にして二五〇〇餘坪の全校舍復興をなし昭和二十八年五月五日の記念日に榮ある落成式を擧げたのでありました。

越えて三十年五月五日は母校創立六十周年に當り盛大なる記念式典を擧行したのでありました、斯くの如く母校の大行事はすべて創立記念日たる五月五日の端午の佳辰を選ばれて居りその日を迎える毎に私は人一倍感謝と大なる感激を覚えるのであります。

時去り年更まるに連れ或は会員諸君の内には五月五日を忘れる人も無いではないかと思われるが私としては一生を通じ忘れんとして忘れ得ざる日であります。

少くとも磐高同窓会々員諸君だけでも輝しき磐高誕生の記念日を忘れず祝福いたしたいものです。

釜屋會計さん

個人所得で九位

平稅務署管下三十一年度の個人確定所得申告は左の如く拾人の順位だが釜屋会計さんは九位である電話も九、九九、九九九と九の數になる偶然と許り考えられぬ

①八〇二二千円磐城市中之作漁業、吉田義勝、②五四九三千円磐城市、漁業野崎美世治、③四九〇八千円平市中平窪酒造業松本勇、④四二〇一千円四倉町原田磐城セメント工場長大田竹二郎、⑤四一一七千円磐城市江名漁業坂東新一郎、⑥四〇一〇千円常磐市辰ノ口常磐炭礦所長越智英勇、⑦二六四四千円磐城市江名、漁業小松敬次郎、⑧三四九〇千円勿來市植田酒造業古川傳一、⑨三三二〇千円平市五丁目釜屋会計諸橋元三郎 ⑩三二七八四倉町漁業鈴木常松

高野山參詣の記

神佛の加護の賜

阿部唯次郎

總本山高野山金剛峯寺法燈四百五十八世寺務檢校法印に昇進せる菅野經禪大僧正の御招待を得たので登山しました。三月十日高野山に登り菅野經禪大僧正の御案内にて伽藍諸堂を巡つた大会堂、三昧堂、不動堂と不動堂は鎌倉時代の建物四面異つた造り堂の四隅は四人の大工が各自勝手に作り上げの合作で有名である大塔の鐘三百數拾年前のもの六時の鐘である六角經藏、御影堂、前に三鈷の松あり西塔、森の中にあつて特別な靜けさをもつている。

高野山の地主神として祭り明神社あり天野明神、高野明神、十二王子百二十伴神を合祀した社の三社ある大僧正明日の盛儀を思い特に念入りの諸經と推終申す高野にては最も欽敬する神として居るとの事であると三月十一日轉衣式にのぞむ始めての事で唯々儀式の壯嚴さには驚いた

第四百五十八世高野山寺務檢校執行法印菅野經禪大僧正轉衣式々次職衆齋座、地方寺院齋座、一般參列者齋座、法印御房齋座、御法樂、緋紋白緋衣捧持、法印御房更衣正面着座、松三寶、職衆祝辭、一般參列者松三寶、法会係挨拶、法印御房退座、職衆退座、地方寺院特信者退座、齋食、齋食後法印御房御自坊へ以上、日時三月十一日午前九時自式場總本山金剛峯寺、僧侶百名、一般信者百名いとも嚴肅に二時間に亘る盛儀が終つた大馳走あつた、參列者は南は九州北は北海道に及びました

總本山金剛峯寺は伽藍を中心とした山上の町、海拔三千尺高野山上の佛都にあり今を去る壹千百有余年前にかゝる高山に建造した當時の宗敎の力、弘法大師の氣宇宏大創業の偉大さを今更ながら驚きました

三月十二日奥之院大師廟まで十八町諸大名の大墓石連られ甚なお暗い古杉の下道果石からくる一道の冷氣一種の靈感に打たれる天下の一大靈場であります

御廟橋を渡り水向地藏金銅佛が並び水を手向ける、石田三成公が寄進した一切經藏の國寶建物あり、全山天然記念物になつて居るとの事、御案内された菅野經禪大僧正は高野山奥之院維那職にて金藏院の住職であり今回法印に昇進せられ僧侶生活五拾餘年七拾三才の老僧であります。高野山では滿洲王の偉名ある滿洲に五ヶ寺を建立した名僧であります。數年來の知人です小生本年は還曆に當るので神佛に御加護の心にて今回伊勢詣り高野山に登山し、盛儀に列し得た事等之れ偏に神佛の加護の賜と存じ益々信仰厚きと肝に銘じました

（寫眞平四伊勢屋主阿部氏）

（反響） 音信交換

東京都目黒區平町一五二 三月十七日 山野邊春子

拜啓 餘寒まだ去らぬ折柄御家内皆々様には益々御健勝の御事とよろこばしく存じ上げます。

さて此の度はいつも變らぬ再度新聞御送附下さいまして有難うございます。なつかしく郷土事情もよく判明致しうれしく拜讀いたして居ります。人生の情勢もはかなく一人哀感する事もあります。小名濱への御悔大へんで御座いました、小名濱の方もいろ〳〵と心配して居りましたそうで、正ちやんは一兩日前上京したようです。電話が御座いました天神のしち様が御死亡なさいました由、何事か出來たのでしょうか、異狀のように推察して居ります。ついては此の度西郷の長女を引きとり發育なさいませとの事容易な事でありません、然し陰ながら感謝して居る事と存じます。次女は江栗で發育なさるとか、兩親の愛を受け入られぬ子供ほど世に不幸はありません。よろしく御願い致します子供もさぞよろこんで居る事でしょう。

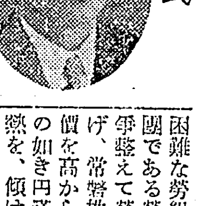
先は乱筆にて皆々様によろしく御願いします。

常磐市長選五月四日と決定

立候補受付が、四月二十四日投票日が五月四日ときまつた。常磐市長の改選は、實は改選でなく、眞の初代市長という重大な意味をもつものである。

壇に上つた數は八名を超え、各々複雜な經緯を經て、四名の候補者が選擧線上に、立ち上つたのである。保守派、矢吹氏、松本氏、革新派、磯野氏、日野氏と呼ばれているが、親分型で庶民的な、矢吹氏、磯野氏、庶民的肌な松本氏、日野氏と分けてその横顔を描いてみよう。

矢吹莊司氏



現市長である 矢吹氏は、立志傳中の人であり、農家の出である。逞しい風貌は叩き上げたという強さをもつている。町議、町長、市長と經驗を重ね、円熟した市長としての自信をもつて選擧戰に臨んでいる。

人の顔さい見れば「やあ」と肩をたたく好々爺で、庶民的明朗さわ今日の人氣をつくり上げたのである。七十二才の年令に似ず青年を愛し、!!常に農村の改良と發展、商工都市としての常磐を築くに腐心している合併後いち早く耕耘機を購入したり、廢礦の荒廢に惱む藤原に水道、市營住宅を作つたりまた東北に唯一という御自慢のし尿處理場の設置など過去四年間の足跡は、官廳關係についても相當な實力をもつものゝみがよく爲し得る數々の仕事をしてきたのである。人は誰でも、自分を知つてくれる人に親しみをもつ七十二年の閲歷と社会的運營は强靱な地盤となつて氏を支えている。

磯野清治氏

氏は四十四才の若さであるか、戰後勞働者から勞組幹部、組合長いま又、市長候補と、時間的にみて、急速度ではあるが立志傳中の人と云えるであろう。

困難な勞組複雜な人間の集團である勞組の機構をとも爭整えて勞資協調の實をあげ、常磐株二五〇〇円の礎價を高からしめたのも、氏の如き円滿な人格者が、情熱を、傾けてきたからではあるまいか、後進に道を讓るたまたま市長選に際会し萬有余の票數をもつ勞組が推戴するのも社会黨の公認も地區勞の應援もむなしとしない。そのスローガンをのぞいてみても⑴勤勞者の住宅建設、⑵市民室の設置など新鮮な政策を打ち出しており、市民室は總務係、工務係、稅務係、商工係などベテランを集め、市民が直接市に要望するものをスピードアップする爲にと考えているし、甚休みだからなどというエアポケットをなくしたいと語つているのは勞組運動の中で鍛えた苦勞が表現されている 勞組運動は多くの矛盾と苦惱を内藏しつつ、社会の進步的役割を果しているのである。常磐市に新しい息吹きを吹き込むのも氏の如き生活經驗をもつ人のよくなし得るところである

松本久吉氏

松本氏が上京すると德田球一に似ているため、刑事に後をつけられて困つたという。たしかに風貌が德球に似ている、しかし俗奕的なところはなく、あくまで冷靜な科學者タイプである それもそのハズ松本氏は旅順工大を卒業してから同校の講師となりその後國立金鑛精錬所長、また當時滿洲國統一の大会社だつた滿洲鑛業開發株式会社の理事長室長の重役を果したほどの大物でありエンジニヤなのである。冷静な學究的な人だけによく「とつつきにくい」といわれる。

御愛想をいうほどに上手ではなし八方美人的なところがないだけに或はそうかも知れないが心根は美しいやさしい人なのである。だから表面はいかめしいが話してみるとなか〳〵人なつこく、しみじみとした情味がにじみでてくる、首をすくめて笑うところなど正に童顔で、この人にしてこんな可愛いところがあるのかとおどろかされる、くらいで、愛妻家の名があるのもむべなるかなである。

松本氏は終戰後引揚げてきてから深い學殖とずぐれた技術を買われ東部石炭協会技術員教習所長となり昭和二十四年四月市民の要望をにない町長選擧に出馬し無競爭で當選し金的を射とめれ、そして間もなく石城地方町村長会の会長となりやがて湯三郡町村長協議会長として敏腕をふるい他縣にも誇り得る新進政治家として湯本町の名を輝しいものにしたのである。松本氏は前回の選擧で矢吹氏と一騎打ちして惜敗したが現在は常磐市信用組合理事長のほか福島縣信用組合協議会長石炭協会企畫部長、常磐總合開發常務理事福島縣勞災病院顧問などをつとめ多方面に活躍しているが地方には惜しむべき人物として高く評價されている、今次選擧に立候補したスローガンは⑴健全財政の確立と公費節約⑵諸稅賦課の適正と輕減⑶厚生福祉施設の完備と失業對策、學校教育施設の充實⑷社会教育の普及徹底⑸中小企業と農村業の振興⑺五市合併と常磐綜合開發の促進⑻市役所人事の明朗化⑼都市計畫などである。

日野利春氏

詩人日野利春氏は、家具商人であると同時に、農民運動の實踐者でもある。「地のすえ」「ひびかぬもの」等の光り滲るゝ詩集をみても、清潔な精神美の持主であることがわかる、又經濟人としても一流の人となりは湯本專門店会の理事長となりて活躍していることでもわかる。

又教育委員長として教育問題に深い關心と情想を傾けてきたのも次代を擔う青少年の純潔を願う故であつた。特に日本の置かれた世界的價値を想うとき技術者の養成技術資源こそ天然資源の乏しい日本の唯一の生きる道であるとも語るところなぞ大政治家のおもかげがある。

新潟高校時代に惠まれぬ農民の姿に同情、日農に入り勞働運動に投じたのは若き情想か何かを求めて爆發したのであろうが、四十八才の今日は円熟した斗魂を胸に秘め、勞働運動の荒さはなく又單なる學究の徒でもなく、吟詩事を主とする詩人でもない、社会的事象は政治によつてのみ成し遂げる事ができると斷じているのではあるまいか詩人にして經濟人、大地にしつかりと足をつけている、日野氏は惠まれた文化人である文化都市常磐市をつくる人は氏より外にないと青年層婦人層インテリーと云われる知識人の應援は當然であろう。市長候補として新鮮な感じを市民に與えのも清潔な人格かいき〳〵と市民の眼に映ずるからであろう

若松チヨ媼

（若松チヨ媼常磐炭礦前取締役若松修一氏母堂）去月二十二日午前十時三十分老衰のため常磐市湯本表町の自宅で永眠された、行年八十五才、媼は林城中之内の長瀬家より故若松條助翁に嫁す、告別式は去月二十五日午後二時湯本表町物善寺（下の寺）で行われた

金成こう媼

（常磐市西郷金成新一氏母堂）老衰のため去月十一日午後三時四十分永眠された行年八十三才、葬送は神式にて今月十三日会葬者多數盛葬であつた

安島媼

（勿來市三澤町弓張安島金藏氏母堂）去月九日葬送された行年八十才

告訴状

磐城市大字岩出字向二十八
告訴人 山野邊庄吉
磐城市林城字辻前三
被告訴人 長瀬彰義
脅迫罪被告事件の告訴

事實

一昭和三十一年九月二十日午後二時頃告訴人は彼岸につき燒香のため磐城市古港五十五番地志賀要平氏宅を訪問し燒香後、全家佛壇の室にて西丸猛、織内精一、西安男、志賀要平の五氏と對談中、西氏と私は初對面につき西丸氏は私を西氏に紹介したがその引合の言葉に『この君は山野邊君と申し、岩出の奇人で磐城市政刷新のため破邪顯正の健筆を振つて居る士である、この程長瀬議長と会つたがその折、長瀬は山野邊を生かしては居れぬと申した、然し私(西丸）はあゝやつて神經痛もなほつてピン〳〵して居るのにどうするだと答えてやつた』と言明された

そこで告訴人は『それは西丸翁本當か』と質したところ彼れは本當だと答いた

二、その翌二十一日告訴人は磐城警察署に赴き栗田署長に口頭を以て、右の犯罪行爲に因る告訴をしたのだが署長は書面を以て改めて告訴せよと申するのであつた

三、そこで告訴人は身柄保護願いの件もあるからと申したら署長は『万一私に万一の事があれば搜査線上に置く』と確約されてメモをとつて與れた

四、仄聞するに長瀬が告訴人を生かしておけぬと云つた言動は小名濱料亭新米で長瀬彰義、小野義一、西丸猛の三氏が会談同席の節である

五、右の事實は左の者を證人として喚問せられれば明かである

㈠磐城市小名濱公園 西丸猛
㈡東京都北區岩淵町一の四三五 西安男
㈢小名濱古港 志賀要平
㈣小名濱清水屋 小野義一
㈤常磐市下湯長谷 織内精一

以上

昭和三十二年二月十一日
告訴人 山野邊庄吉
磐城警察署長 警視 栗田喜一殿

觀 靜 中 動

○諸橋平市長は『サイトゴマはなぜ悪い』と申すから悪いから悪いと答いた解說の限りに在らず、○野崎滿蔵翁を本紙前號で偉人と報じたに對しある人はあまり誇稱し過ぎるじやないかとの話しだが偉(いら)いから偉人と報じた翁はかつて縣議選で關内正一氏と戰い道間は市長選で諸橋久太郎氏と一騎打ちをなし、ともに敗れた、ある意味で負けて勝つて居る。

編輯後記

左の記事は紙面の都合上次號に讓ります。

一、常磐市し尿處理場の擬要（此の記事は材料の提供してくれた箱崎清一氏に紙上で御諒解を受けたい

一、安藤對馬守の銅像再建促進

一、駒忠事件民事準備公判は四月二十三日午後一時より續行これで準備は結審となる五月は愈々公開公判、刑事々件は取調中なる事は本紙前號で報導の通りである

平新報社 （眞立）